

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6013477号
(P6013477)

(45) 発行日 平成28年10月25日(2016.10.25)

(24) 登録日 平成28年9月30日(2016.9.30)

(51) Int.Cl. F I
A 4 5 D 34/04 (2006.01) A 4 5 D 34/04 5 1 0 A

請求項の数 16 (全 18 頁)

(21) 出願番号	特願2014-520707 (P2014-520707)	(73) 特許権者	514016669
(86) (22) 出願日	平成24年7月19日 (2012.7.19)		アルベア ル トレポー
(65) 公表番号	特表2014-520642 (P2014-520642A)		フランス, エフー76470 ル トレポー, ルート ナショナル, 15パー
(43) 公表日	平成26年8月25日 (2014.8.25)	(74) 代理人	110000338
(86) 国際出願番号	PCT/FR2012/051721		特許業務法人HARAKENZO WORLD PATENT & TRADEMARK
(87) 国際公開番号	W02013/011246	(72) 発明者	ブロック, リシャール
(87) 国際公開日	平成25年1月24日 (2013.1.24)		フランス, エフー76370 デルシニー
審査請求日	平成27年6月24日 (2015.6.24)		グランクール, アンパス デ マレットゥ, 7
(31) 優先権主張番号	1156641		
(32) 優先日	平成23年7月21日 (2011.7.21)		
(33) 優先権主張国	フランス (FR)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 容器に詰められた流体製品の取り出し装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

容器(1)に詰められた流体製品を取り出すための装置であって、

前記装置は、製品が供給されるための容器(1)と固く接続された主要部と、前記主要部の上のノズル(3)とを有する、詰められた製品の抽出部材(2)を備え、

前記ノズルは、製品を取り出すあるいは取り込むために、それぞれ下降あるいは上昇する軸方向の行程にそった可逆的な運動に適しており、

前記装置は、容器(1)に固く接続され、かつ、前記抽出部材(2)の主要部を固く固定する円環(6)を備えており、前記円環は前記ノズル(3)の両側に配置された2つの上アーム(7)を有し、前記ノズル(3)は、2つの外側のピン(9)を備えており、前記上アームの各々は、内側のピン(10)を有し、前記内側のピン(10)は、外側のピン(9)とでハウジングを形成するように、外側のピン(9)から軸方向に離れた位置に配置され、

前記装置は、製品を取り出すための開口部(14)を有する支持部材を備え、前記上アーム(7)は、移動時、前記ノズルと取り出し口(14)とが結合するように、前記支持部材の中に取り付けられており、

前記装置は、前記抽出部材(2)を作動させるための押しボタン(17)を備えており、前記押しボタン(17)は、前記支持部材(13)に対して半径方向に移動可能に取り付けられ、前記押しボタンは、前記ピン(9, 10)の間に形成されたハウジングにそれぞれ配置される2つのつまみ(20)を有し、前記つまみの各々は、内側のピン(10)

10

20

を支持する上部支持面(20a)と、外側のピン(9)を支持する下部支持面(20b)とを有しており、前記上部支持面(20a)と前記下部支持面(20b)とは、押しボタン(17)が押し込まれることにより、ピン(9)とピン(10)とが離れ、それにより、ノズル(3)が係合し、容器(1)が持ち上がることで、抽出部材(2)が作動するように、半径方向に分岐していることを特徴とする装置。

【請求項2】

前記内側のピン(10)は、前記上アーム(7)の上端近傍に形成されており、前記上アームの各々は、移動時に、前記外側のピン(9)を案内する軸方向の溝(12)を有することを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記上アーム(7)は、前記上アームを離れた位置あるいは前記ノズル(3)を囲む位置に配置することができるように、ヒンジ(8)によって前記円環(6)の管状部(6a)と接続されていることを特徴とする請求項1あるいは2に記載の装置。

【請求項4】

前記円環(6)は、取り付けられる基底部を有した前記容器(1)の上部にそって形成されていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の装置。

【請求項5】

前記容器(1)は、前記円環(6)と、あるいは、前記抽出部材(2)と接続された貯蔵部(1a)を有することを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の装置。

【請求項6】

前記ノズル(3)は、その上に取り付けられる先端部(11)を備えており、前記先端部(11)に前記外側のピン(9)が形成されていることを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の装置。

【請求項7】

前記支持部材(13)は、取り出し口(14)が頂点にある内側の導管(33)を有し、前記ノズル(3)は、前記導管の中で密着してスライド可能に取り付けられた上方シャフト(34)を備え、前記上方シャフトにより、前記導管内に、ノズル(3)の取り込みあるいは取り出し行程につれて体積が、増加あるいは減少する、抽出された製品のための緩衝室(35)が定められることを特徴とする請求項1から6のいずれか1項に記載の装置。

【請求項8】

前記緩衝室(35)は、前記抽出部材(2)によって抽出された製品量の30%から100%の間で変化する容積を有することを特徴とする請求項7に記載の装置。

【請求項9】

前記支持部材(13)に取り付けられ、前記容器(1)を囲むためのケース(28)を備えることを特徴とする請求項1から8のいずれか1項に記載の装置。

【請求項10】

前記装置は、製品を付ける手段(31, 49)を有し、前記手段が前記取り出し口(14)の上に取り付けられていることを特徴とする請求項1から9のいずれか1項に記載の装置。

【請求項11】

前記上アーム(7)のそれぞれの上端は、移動時に前記支持部材(13)のUボルト(16)の中へ案内される外側の縁(15)を有していることを特徴とする請求項1から10のいずれか1項に記載の装置。

【請求項12】

前記つまみ(20)は、上面と下面とを有し、前記上面と下面とは、それぞれ、外側の端部(22)に前面が縁どられ、前記上部支持面(20a)および前記下部支持面(20b)に後面が縁どられた、外側の凹部(21)を有し、前記ピン(9, 10)は、それぞれ、前記押しボタン(17)の待機位置を明確にするために、凹部(21)の中に配置され、前記ピンと端部(22)とが、押しボタンの引き戻しを防ぐために相互作用している

10

20

30

40

50

ことを特徴とする請求項 1 から 11 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 13】

前記つまみ(20)のそれぞれは、中央の溝(23)を有し、前記中央の溝(23)には、前記押しボタン(17)の移動を案内するため、前記支持部材(13)の中に形成された半径方向のスライド(24)が配置されていることを特徴とする請求項 1 から 12 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 14】

前記支持部材(13)は、前記押しボタン(17)の移動終点を規定するための接合部(26)を少なくとも 1 力所以上有していることを特徴とする請求項 1 から 13 のいずれか 1 項に記載の装置。

10

【請求項 15】

前記支持部材(13)は、前記押しボタン(17)の反対側に形成された壁(25)を有し、前記壁は、向き合うように配置された前記ノズル(3)の後部の形状を補助する形状を有していることを特徴とする請求項 1 から 14 のいずれか 1 項に記載の装置。

【請求項 16】

前記支持部材(13)は、支持部材中に固定された挿入物(40)を有し、前記挿入物は、前記取り出し口(14)有することを特徴とする請求項 1 から 15 のいずれか 1 項に記載の装置。

【発明の詳細な説明】

20

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、容器に詰められた流体製品の取り出し装置に関する。

【0002】

具体的な用途としては、流体製品は、例えば化粧品や薬剤治療に用いられるゲル状やクリーム状の物である。より具体的には、本発明は、リップグロスや唇保護製品の利用に適している。

【0003】

容器の中に詰められた製品を抽出する部材で構成された取り出し装置(システム)は既に知られており、例えば、製品を供給するために前記容器と固く接続された主要部と、前記主要部の上方に設けられたノズルとを備えたポンプから成る。より具体的には、抽出部材は、製品を取り出しあるいは取り込むために、それぞれ、ノズルが下降あるいは上昇する軸方向の行程に沿ったノズルの可逆運動により作動されるのに適している。

30

【0004】

従来、ノズルの運動は、ノズルの上端に取り付けられた押しボタンによって作動し、前記押しボタンは、前記ノズルと上部支持領域とに接続された取り出し口を備えている。

【0005】

韓国公開特許第 2010/0010657 号公報には、ポンプのノズルに関する、側面に設けられた押しボタンについて開示されており、前記押しボタンが前記ノズルに形成された 2 つのリブ(ribs)と相互作用するため、前記押しボタンの半径方向の動きが、取り出し行程にそった前記ノズルの係合を引き起こしている。

40

【0006】

しかしながら、前記形態は、十分であるとは言えず、特に、ポンプの作動には、押しボタンの過度の行程や押込力が必要となる。さらに、前記装置は、側方の作動を可能にするために特別なポンプを使用している。

【0007】

本発明の目的は、運動や作動力が減じられた押しボタンによって、抽出部材が側面で作動する取り出し装置の提案により、先行技術を向上させることであって、前記装置は、標準的な抽出部材、すなわち、軸方向の作動における使用に適した型を用いてもよい。

【0008】

50

上記目的のために、本発明は、容器に詰められた流体製品の取り出し装置に関するものであって、前記装置は、製品を供給するために容器と固く接続された主要部と、前記主要部の上のノズルとを有する、詰められた製品の抽出部材を備え、前記ノズルは、製品を取り出しあるいは取り込むために、それぞれ、下降あるいは上昇する軸方向の行程に沿った可逆的な運動に適しており、

前記装置は、容器と固く接続され、かつ、前記抽出部材の主要部が固定された円環を備えており、前記円環は、前記ノズルの両側に配置された2つの上アームを有し、前記ノズルは、2つの外側のピンを備えており、前記上アームの各々は、内側のピンを有し、前記内側のピンは、外側のピンとでハウジングを形成するように、外側のピンから軸方向に離れた位置に配置され、

10

前記装置は、製品を取り出すための開口部を有した支持部材を備え、前記上アームは、移動時、前記ノズルと取り出し口とが結合するように、前記支持部材の中に取り付けられており、

前記装置は、前記抽出部材を作動させるための押しボタンを備えており、前記押しボタンは、前記支持部材に対して半径方向に移動可能に取り付けられ、前記押しボタンは、ピン同士の間に形成されたハウジングにそれぞれ配置された2つのつまみを有し、前記つまみの各々は、内側のピンを支持する上部支持面と、外側のピンを支持する下部支持面とを有しており、前記支持面は、前記押しボタンが押し込まれることにより、ピンとピンとが離れ、それにより、ノズルが係合し、容器が持ち上がることで、抽出部が作動するように、半径方向に分岐している。

20

【0009】

本発明のさらなる目的と長所とは、添付した図を参照して、以下の記述により明らかになる。

【0010】

- 図1は、本発明の第1の実施形態に係る取り出し装置の分解透視図であり、図1a、図1b及び図1cはそれぞれ、図1に示した押しボタン、支持部材及び円環の拡大図であり、

- 図2は、図1に係る取り出し装置の縦断面図であり、それぞれ、押しボタンが待機状態(図2a)及び押し込まれた(かみ合った)状態(図2b)であり、

- 図3は、図1に係る取り出し装置のケースのない場合を示す部分透視図であり、それぞれ、押しボタンが待機状態(図3a)押し込まれた状態(図3b)であり、

30

- 図4は、図3の縦断面図であり、

- 図5は、図1に係る取り出し装置の横断面図であり、それぞれ押しボタンが待機状態(図5a)及び、押し込まれた状態(図5b)であり、

- 図6は、図1に係る取り出し装置の組み立て工程の図解であり、

- 図7は、図1に係る取り出し装置の製品封入工程と最終組み立て工程の図解であり、

- 図8は、本発明の第2の実施形態に係る取り出し装置の分解透視図であり、図8a、図8b、図8c、及び図8dはそれぞれ、図8における、支持部材の組み立て部品、押しボタン、円環及び先端部の拡大図であり、

- 図9は、図8に係る取り出し装置の、押しボタンが待機位置である場合を示しており、それぞれ、横断面図(図9a)、支持部材が無い場合の部分透視図(図9b)、及び縦断面図(図9c、図9d)であり、

40

- 図10は、図8に係る取り出し装置の、押しボタンが押し込まれた位置である場合を示しており、それぞれ、横断面図(図10a)、支持部材が無い場合の部分透視図(図10b)、及び、縦断面図(図10c、図10d)である。

【0011】

図を参照して、容器1に詰められた流体製品を取り出す装置を述べる。前記製品は、例えば、化粧品や、薬剤治療に用いられるゲル状かクリーム状のものであればよい。

【0012】

装置は、製品を供給するために容器1と固く接続された主要部と、前記主要部の上のノ

50

ズル 3 とを有している、詰められた製品を抽出するための抽出部材 2 を含んでいる。本実施形態で示すように、抽出部材は、ポンプ 2 であるが、本発明は本実施形態のみに限定されるようなものではない。前記ポンプは、製品が供給されている間、空気を返さないものであればよく、例えば、容器 1 の中でスクレーパー (scraper) ピストンがスライドすることで動作するようなものが挙げられる。

【 0 0 1 3 】

製品の抽出を可能とするために、ノズル 3 は、製品を取り出しあるいは取り込むためにそれぞれ、下降あるいは上昇する軸方向の行程に沿って、可逆動作するのに適したものである。特に、ノズル 3 は、弁を介して容器 1 と接続された計量室を形成するために、ポンプ 2 の主要部に配置された管を含んでもよく、前記ノズルを取り込み行程から復帰させるためのバネ 4 を含んでもよい。

10

【 0 0 1 4 】

断面図が描かれた図 4 に示されるように、ポンプ 2 は、仏国特許発明第 2 9 0 8 8 4 3 号明細書に記載されたような型、すなわち、ノズル 3 内に配置された針状弁 5 を含み、取り出しあるいは取り込み行程中に、前記ノズルと計量室との接続を針状弁 5 が開状態あるいは閉状態にするような型である。本発明は、特に、製品を取り出すのに圧力抽出が必要である方法といったような、特別な構造のポンプ 2 に限定されるようなものではない。

【 0 0 1 5 】

本装置は、容器 1 と固く接続され、かつ、中にポンプ 2 の主要部を固く保管する円環 6 を有している。この目的のために、円環 6 は、その中でポンプ 2 の主要部が密着している管状部 6 a を有している。

20

【 0 0 1 6 】

図 1 に示した実施形態では、容器 1 は、円環 6 の下部と接続された貯蔵部 1 a を有している。前記円環は、ポンプ 2 と前記貯蔵部の内部とを接続するために、貯蔵部 1 a の上部開口部がその上に密着される、下部支持面 6 b を有している。ほかの実施形態としては、図示していないが、円環 6 は、容器に製品を詰めた後に容器を密封するための基底部を有している、容器 1 の上部の一部分として形成されていてもよい。

【 0 0 1 7 】

円環 6 は、ノズル 3 の両側に配置された 2 つの上アーム 7 を有している。図 1 では、上アーム 7 は、ヒンジ 8 によって、管状部 6 a の上端にそって接続されることで、管状部 6 a と一体となっている。本実施形態は、上アーム 7 を、ポンプ 2 が管状部 6 a の中に固定できるような離れた位置 (図 1 c) と、ノズル 3 を取り囲むような位置とに配置することができる。

30

【 0 0 1 8 】

ノズル 3 は、2 つの外側のピン 9 を有し、アーム 7 は、それぞれ、外側のピン 9 から軸方向に上方に離れた位置に配置され、外側のピン 9 とでハウジングを形成する、内側のピン 1 0 を備えている。実施形態に示されるように、ノズル 3 は、外側のピン 9 がその上に形成された、取り付けられる先端部 1 1 を備えている。特に、先端部 1 1 は、ノズル 3 にはめ込むための穴を有しており、ピン 9 は、前記穴の周囲にまさに広がりながら、半径方向に伸びている。他の実施形態としては、図示はしていないが、ピン 9 がノズル 3 の上に直接形成されていてもよい。

40

【 0 0 1 9 】

さらに言えば、内側のピン 1 0 は、アーム 7 の上端近傍に形成されていると同時に、半径方向に伸びており、前記アームはそれぞれ、移動時に外側のピン 9 が案内されるような軸方向の溝 1 2 を有している。

【 0 0 2 0 】

装置は、製品を取り出すための開口部 1 4 を有した支持部材 1 3 を含んでおり、アーム 7 は移動時に、ノズル 3 と取り出し口 1 4 とが接続することで、前記支持部材中に取り付

50

けられる。第１の実施形態では、上アーム７の上端は、それぞれ、ピン１０の反対側に形成された、外側の縁１５を有しており、前記縁は、移動時、支持部材１３のＵボルト１６に案内される。特に、外側の縁１５は、円環６とともに支持部材１３に対してスライド移動することにより、Ｕボルト１６の中に配置するのに適した傾斜端と、その後の引っ込み動作に備えた水平な底部とを有している。

【００２１】

本装置は、支持部材１３に対して半径方向に移動可能に取り付けられる、抽出部２を作動させるための押しボタン１７を含んでいる。この目的のために、支持部材１３は、押しボタン１７がはめ込まれる開口部１９を備えた前面壁１８を有し、Ｕボルト１６は前記壁の両側にそれぞれ形成されている（図１）。 10

【００２２】

押しボタン１７は、ピン９とピン１０との間に形成されたハウジングに配置される２つのつまみ２０を有しており、前記つまみは、上アーム７と先端部１１との間にそれぞれ配置されるように、開口部１９の中で半径方向に伸びており、前記つまみは、ノズル３を取り囲んでいる。つまみ２０はそれぞれ、内側のピン１０を受ける上部支持面２０ａと外側のピン９を支持する下部支持面２０ｂとを有しており、前記支持面は、押しボタン１７を押し込むことによりがピン９とピン１０との分離を引き起こすように、半径方向に分岐している。

【００２３】

このように、抽出部２は容器１の上昇にともなうノズル３の結合かみ合い（combining engagement）によって作動し、押しボタン１７の移動時の運動や、作動力を低減することを可能にしている。さらに、押しボタン１７を放した後は、ノズル３が取り込み行程にそって戻り、それ自体が、押しボタン１７を戻し、容器１を待機位置へと戻す。実施例によれば、行程が３．５ｍｍ未満で、１回に約１２０μｌ取り出すためには、支持面２０ａ及び２０ｂの勾配が３５°である必要がある。 20

【００２４】

本実施形態で示したように、つまみ２０は上面と下面とを有しており、それぞれの前記面は、外側の端部２２によって前面を縁取られ、支持面２０ａおよび２０ｂによって後面を縁取られている凹部２１を有している。この方法により、押しボタン１７の待機位置は、おおよそピンの大きさと等しい凹部２１の中にそれぞれ配置されたピン９、ピン１０によって定められる。 30

【００２５】

外側の端部２２は、ピン９とピン１０とで形成されたハウジングの中につまみ２０を配置するのに適した傾斜端を有している。特に、この配置のために、ピン９、ピン１０は外側の端部２２にもたれることによって分離され、例えば、予備注入動作に使用されるような、ポンプ２の動作を引き起こす。

【００２６】

さらに、ピン９、１０は押しボタン１７の引き戻しを防ぐために、外側の端部２２と相互作用する。この目的のために、外側の端部２２は、ピン９、１０が凹部２１の中に配置された後にピン９、１０が引き戻されることを防止するように、直立した後面を有している。 40

【００２７】

移動時に押しボタン１７を案内するために、それぞれのつまみ２０は中央の溝２３を有しており、その中に、支持部材１３に形成された半径方向のスライド２４を配置する。さらに、本実施例は、押しボタン１７が移動している間、支持面２０ａ、２０ｂとピン９、１０との力の伝達を確実にするのに適している。

【００２８】

図５に示されるように、支持部材１３は押しボタン１７の反対側に形成された壁２５を有し、前記壁は、当該壁と面するように配置されたノズル３の形状を補助する形状を有している。この方法により、動作時、壁２５は、前記ノズルを支持することで、ノズル３の 50

取り付け不良を防ぐのに適している。

【 0 0 2 9 】

さらに、支持部材 1 3 は、押しボタン 1 7 の移動終点を規定する接合部 2 6 を、少なくとも 1 つ有しており、この接合部 2 6 は、特に、取り出し量を決定するために容易に配置するのに適している。特に、壁 2 5 は、2 つの半径方向の外縁 2 7 に縁どられており、つまみ 2 0 は当該外縁 2 7 上をそれぞれ滑る。前記外縁は、接合部 2 6 として働く基底部を有している。

【 0 0 3 0 】

第 1 の実施形態に関して、本装置は、特に壁 1 8 及び U ボルト 1 6 の周りにおいて、容器 1 を取り囲むために、支持部材 1 3 と接合されたケース 2 8 を含んでおり、前記ケースは、支持部材 1 3 の開口部 1 9 と向かい合うように設けられた側面開口部 2 9 を有しており、それを通して、押しボタン 1 7 が動きやすいようになっている。特に、ケース 2 8 は装置のデザインを向上させるために配置され、容器 1 を完全に隠すために、前記ケースの下に、内蓋 3 0 が設けられていてもよい。さらに、押しボタン 1 7 は、開口部 2 9 の端を隠すための装飾用のカバーに包まれていてもよい。

10

【 0 0 3 1 】

本装置は、製品を付ける（塗布する）ための手段を含んでいてもよく、前記手段は、取り出し口 1 4 に取り付けられる。第 1 の実施形態では、前記手段は、取り出された製品を加圧下から解放するのに適した上部溝穴 3 2 を有した可変スリーブ 3 1 によって形成されている。

20

【 0 0 3 2 】

本実施例は特に、リップグロスや唇保護製品に利用するのに適している。都合の良いことに、少なくともスリーブ 3 1 の溝穴 3 2 に、例えば Alphasan や Bactiglas のような銀を主成分とした、上記溝穴に押しつけられた製品膜を通しての微生物の侵入を防止するような、抗菌製品が詰められていてもよい。あるいは、製品を塗布するためのブラシやさらなる手段が備えられていてもよい。

【 0 0 3 3 】

支持部材 1 3 は、押しボタン 1 7 に関して、前記の製品を付ける（塗布する）手段の回転位置を指示する手段を含んでいてもよい。第 1 の実施形態では、可変スリーブ 3 1 は、取り出し口 1 4 の周りに、ケース 2 8 の内側支持面 2 8 a に支えられた、下方環部 3 1 a を有しており、上部溝穴 3 2 は前記ケースから飛び出している。下方環部 3 1 a は、軸方向の 2 つの溝穴 3 1 b を有しており、その中で支持部材 1 3 の凸部 1 3 a かみ合うことにより、前記の製品を付ける（塗布する）手段の回転位置を指示することができる。

30

【 0 0 3 4 】

都合の良いことに、支持部材 1 3 は、取り出し口 1 4 が頂点にある、内側の導管 3 3 を有しており、ノズル 3 は、前記導管に密着して滑るようにはめ込まれた上方シャフト 3 4 を有している。特に、先端部 1 1 は、その中でノズル 3 の接続によってシャフト 3 4 が形成される上方部を含んでいる。

【 0 0 3 5 】

本実施例は、導管 3 3 において、ノズル 3 の、取り出しあるいは取り込み行程中における、抽出された製品の量の増加あるいは減少に対応するための、緩衝室 3 5 を定義づける（defining）のに適している。特に、緩衝室 3 5 は、シャフト 3 4 がスライド可能にはめ込まれた円筒形の下部と、取り出し口 1 4 にむかって集まる、円錐形の上部とを含んでいる。緩衝室 3 5 は、ポンプ 2 によって 1 回で抽出される製品の量の 3 0 % から 1 0 0 % の容積の幅を有していてもよい。

40

【 0 0 3 6 】

この方法により、取り出し中の動作と製品の使用とを少なくとも一部分離することが可能となる。さらに、押しボタン 1 7 を押すことで、抽出量の少なくとも一部で緩衝室 3 5 を満たし、前記押しボタンを離した後は、前記緩衝室中の体積を減らすことで、溝穴 3 2 を通して取り出される。

50

【 0 0 3 7 】

図 6 を参照して、取り出し装置における、個々の組み立て工程を以下に述べる。アーム 7 が離れた位置に配置され（図 6 . 1 ）、ポンプ 2 を円環 6 の中に固定する（図 6 . 2 ）。先端部 1 1 がノズル 3 の上に取り付けられ（図 6 . 3 ）、上アーム 7 がノズル 3 を取り囲むように、引き戻されるとともに（図 6 . 4 ）、外側のピン 9 が溝 1 2 の中に配置される（図 6 . 5 ）。

【 0 0 3 8 】

その後、Uボルト 1 6 の中に外側の縁 1 5 が配置することで、支持部材 1 3 がアーム 7 の周りに配置され（図 6 . 6 ）、スリーブ 3 1 が前記支持部材の上にはめ込まれる（図 6 . 7 ）。ケース 2 8 が支持部材 1 3 と容器 1 とに取り付けられ（図 6 . 8 ）、その後、ピン 9 、 1 0 の間に形成されたハウジングの中につまみ 2 0 をはめこむように、開口部 1 9 , 2 9 に押しボタン 1 7 をはめ込む（図 6 . 9 ）。蓋 3 6 は、2 つの応用例の間のスリーブ 3 1 を保護するために、支持部材 1 3 の周りに取り付けられる。

10

【 0 0 3 9 】

このような工程を経て、本取り出し装置は出荷状態となる。図 7 は取り出し装置の、製品を詰める工程と最後の組み立てとを説明している。

【 0 0 4 0 】

図 7 . 1 及び 7 . 2 は、チューブ 3 7 によって貯蔵部 1 a に製品が詰められる様子を示しており、前記貯蔵部は、次に、出荷状態の装置の円環 6 の下部と結合される（図 7 . 3 及び 7 . 4 ）。ケース 2 8 の蓋 3 0 は、その後、取り出し装置を完成させるために、取り付けられる（図 7 . 5 及び 7 . 6 ）。

20

【 0 0 4 1 】

図 8 から 1 0 を参照して、第 2 の実施形態を以下に説明する。支持部材 1 3 が前記支持部材中に固定された挿入物 4 0 を有しており、前記挿入物は、取り出し口 1 4 が頂点にある、内側の導管 3 3 を有している。第 1 の実施形態では、先端部 1 1 の上方シャフト 3 4 は、緩衝室 3 5 を定めるために、導管 3 3 に密着してスライド可能となるよう取り付けられている。

【 0 0 4 2 】

本取り出し装置は、抽出部 2 の主要部と接続された貯蔵部 1 a を含んでおり、この組立をより強固にするための連結部 4 1 が備えられている。さらに、ケース 2 8 は支持部材 1 3 と固定される。支持部材 1 3 は、ケース 2 8 を固定する目的のために、下部支持面 1 3 b を有している。

30

【 0 0 4 3 】

挿入物 4 0 は、頂点が取り出し口 1 4 である円錐 4 3 が上に伸びている、上プレート 4 2 を有し、前記プレートは、円錐 4 3 のそれぞれの側面に 1 組ずつ配置された 4 つの切り込み 4 4 を有し、前記切り込みは、支持部材 1 3 の内部に形成された軸方向の溝 4 5 と、それぞれがみ合っている。

【 0 0 4 4 】

溝 4 5 は、プレート 4 2 が支持部材 1 3 に固定されるまで支持部材 1 3 の内部をスライドさせることにより、特にロックすることにより、前記支持部材の中に挿入物 4 0 をまっすぐに取り付けのに適している。さらに、挿入物 4 0 は、切れ込み 4 4 のそれぞれの組の間に形成された、U字型架橋 4 6 を有している。U字型架橋 4 6 は、支持部材 1 3 中での挿入物 4 0 のすべり誘導を向上させるため、特に、前記挿入物の固定前の回転を制限するためのものである。

40

【 0 0 4 5 】

挿入物 4 0 はまた、U字型架橋 4 6 の下にそれぞれ形成された、2 つの軸方向の穴 4 7 を有しており、装置の動作時、内側のピン 1 0 はそれぞれ、移動時に、穴 4 7 へと案内される。特に、アーム 7 は、管状部 6 a の上端と固く接続されており、管状部 6 a と一体となっている。さらに、アーム 7 は、移動時、支持部材 1 3 中の 2 つの溝 4 5 間に案内される。

50

【 0 0 4 6 】

穴 4 7 の下端の両側の縁にはピン 4 8 が備え付けられている。特に、穴 4 7 の 2 つのピン 4 8 は、押しボタン 1 7 を中央の溝 2 3 を介して案内するときの半径方向のスライド 2 4 として働く。

【 0 0 4 7 】

第 2 の実施形態において、製品を取り付ける手段 (application means) は、中に導管 5 0 が形成された部品 4 9 を含んでおり、基部 5 1 から側方塗布面 5 2 の上に広がった先端に向けて伸びている。基部 5 1 は、導管 5 0 の中に取り出し口 1 4 が配置される。図 8 から 1 0 では、結合手段は、支持部材 1 3 の中に形成された凹部 5 4 へ差し込むことで組み付けるための 2 つのブロック 5 3 を備えている。

10

【図面の簡単な説明】

【 0 0 4 8 】

【図 1】本発明の第 1 の実施形態に係る取り出し装置の分解透視図である。

【図 1 a】図 1 に示した押しボタンの拡大図である。

【図 1 b】図 1 に示した支持部材の拡大図である。

【図 1 c】図 1 に示した円環の拡大図である。

【図 2 a】押しボタンが待機状態であるときの、図 1 に係る取り出し装置の縦断面図である。

【図 2 b】押しボタンが押し込み状態であるときの、図 1 に係る取り出し装置の縦断面図である。

20

【図 3 a】押しボタンが待機状態であるときの、ケースがない場合における図 1 に係る取り出し装置の部分透視図である。

【図 3 b】押しボタンが押し込み状態であるときの、ケースがない場合における図 1 に係る取り出し装置の部分透視図である。

【図 4 a】図 3 a の縦断面図である。

【図 4 b】図 3 b の縦断面図である。

【図 5 a】押しボタンが待機状態であるときの、図 1 に係る取り出し装置の横断面図である。

【図 5 b】押しボタンが押し込み状態であるときの、図 1 に係る取り出し装置の横断面図である。

30

【図 6】図 1 に係る取り出し装置の組み立て工程の図解である。

【図 7】図 1 に係る取り出し装置の製品封入工程と最終組み立て工程の図解である。

【図 8】本発明の第 2 の実施形態に係る取り出し装置の分解透視図である。

【図 8 a】図 8 における支持部材組み立て工程の拡大図である。

【図 8 b】図 8 における押しボタンの拡大図である。

【図 8 c】図 8 における円環の拡大図である。

【図 8 d】図 8 における先端部の拡大図である。

【図 9 a】押しボタンが待機状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の横断面図である。

【図 9 b】押しボタンが待機状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の支持部材が無い場合における、部分透視図である。

40

【図 9 c】押しボタンが待機状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の縦断面図である。

【図 9 d】押しボタンが待機状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の縦断面図である。

【図 1 0 a】押しボタンが押し込み状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の横断面図である。

【図 1 0 b】押しボタンが押し込み状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の支持部材が無い場合における、部分透視図である。

【図 1 0 c】押しボタンが押し込み状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の縦断面

50

図である。

【図 1 0 d】押しボタンが押し込み状態であるときの、図 8 に係る取り出し装置の縦断面図である。

【図 1】

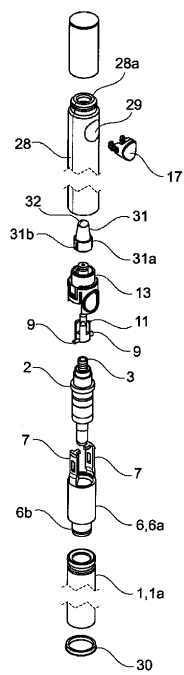


Fig. 1

【図 1 a】

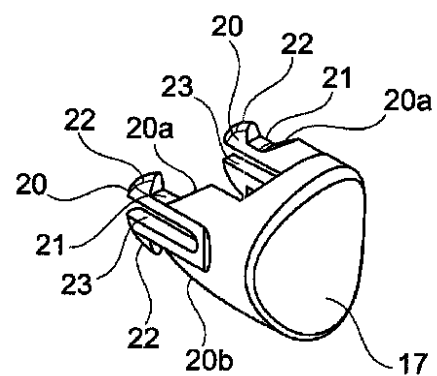


Fig. 1a

【図 1 b】

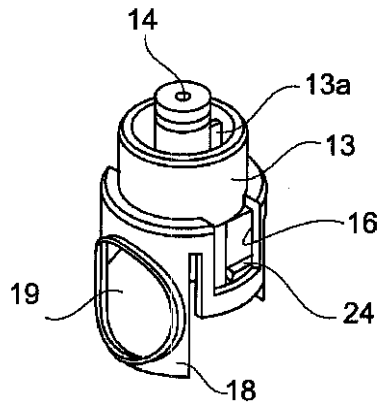


Fig. 1b

【図 1 c】

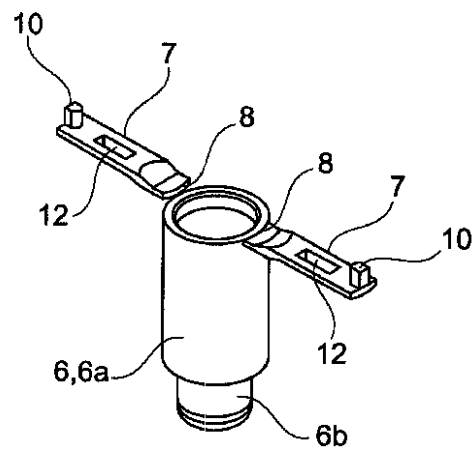


Fig. 1c

【図 2 a】

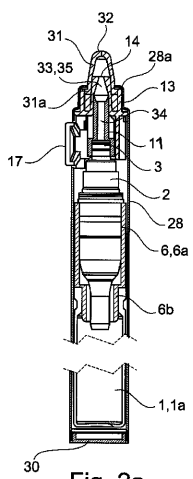


Fig. 2a

【図 2 b】

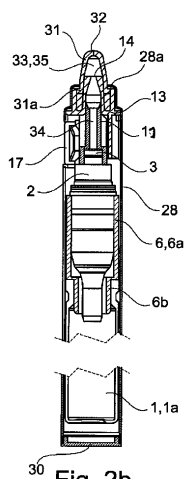


Fig. 2b

【図 3 a】

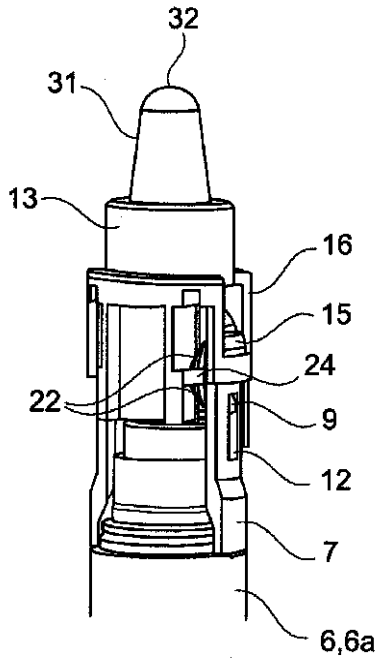


Fig. 3a

【図 3 b】

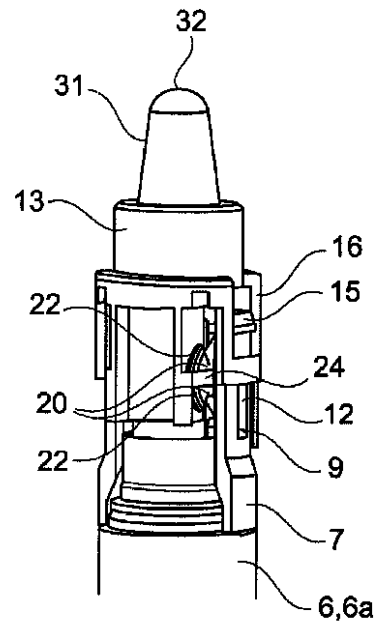


Fig. 3b

【図 4 a】

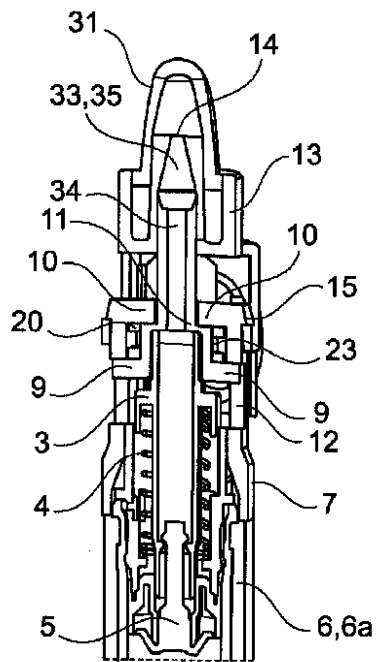


Fig. 4a

【図 4 b】

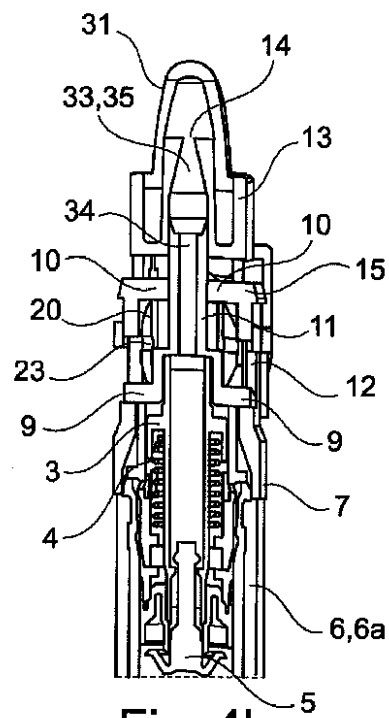
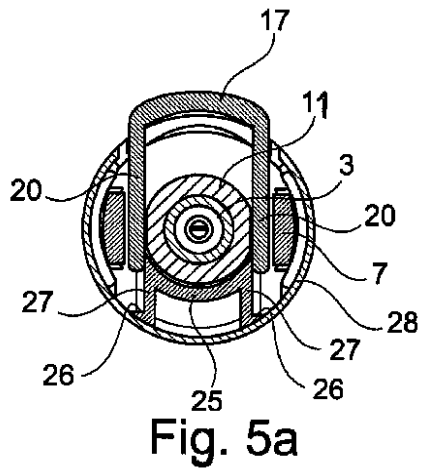
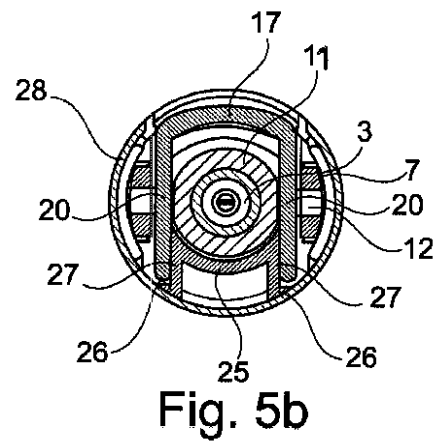


Fig. 4b

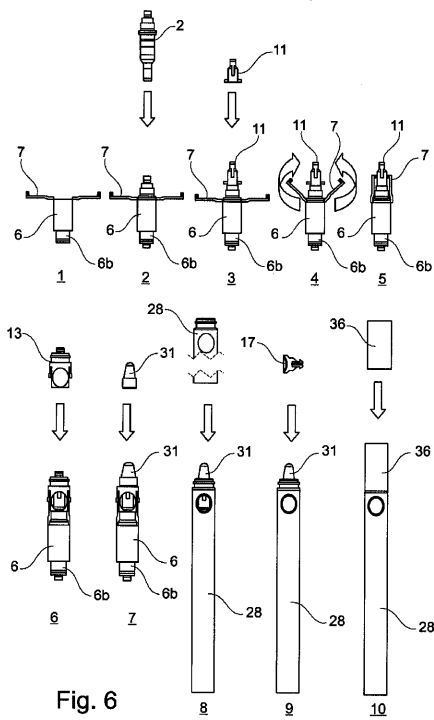
【図 5 a】



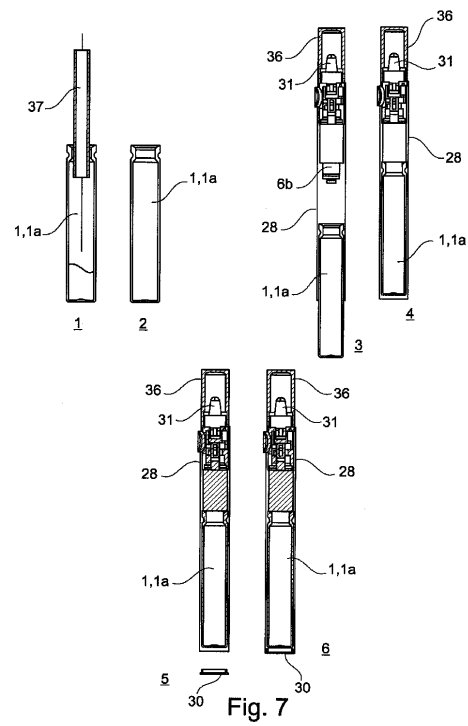
【図 5 b】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

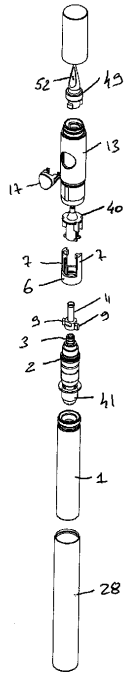


Fig. 8

【図 8 a】

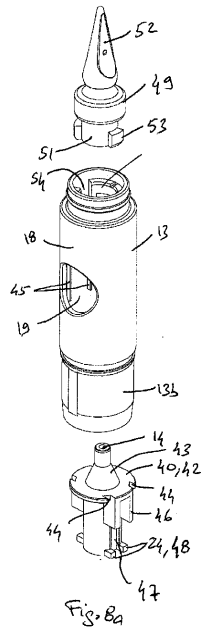


Fig. 8a

【図 8 b】

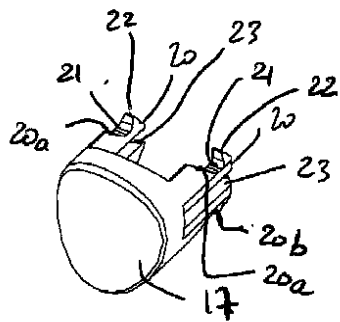


Fig. 8b

【図 8 c】

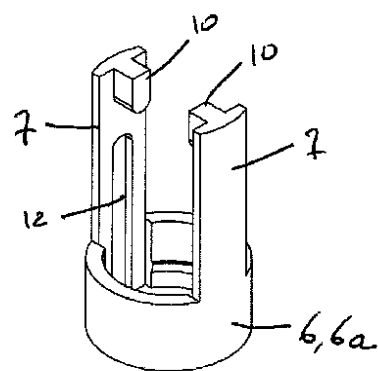


Fig. 8c

【図 8 d】

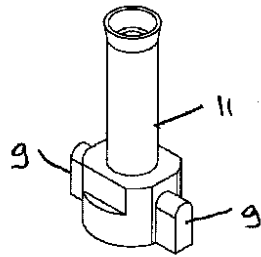


Fig. 8d

【図 9 a】

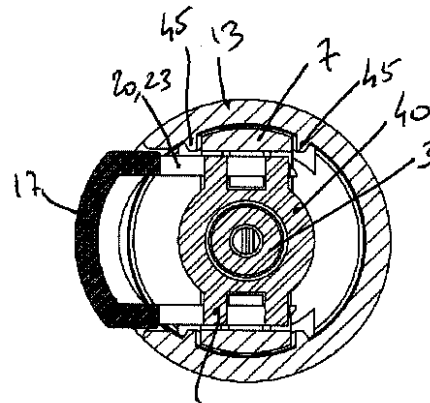


Fig. 9a 46

【図 9 b】

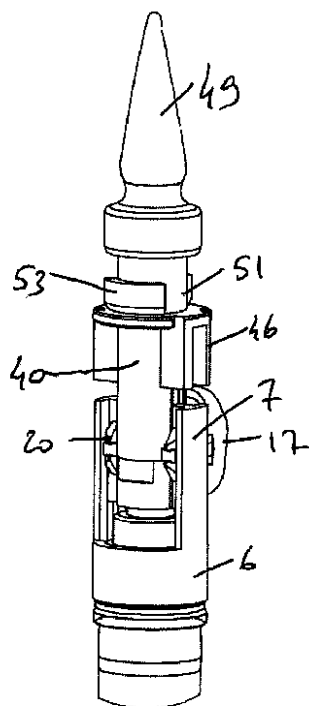


Fig. 9b

【図 9 c】

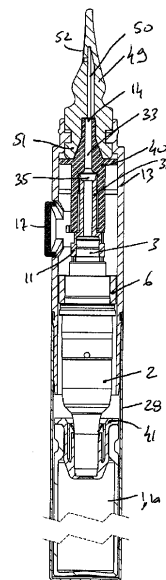


Fig. 9c

【図 9 d】

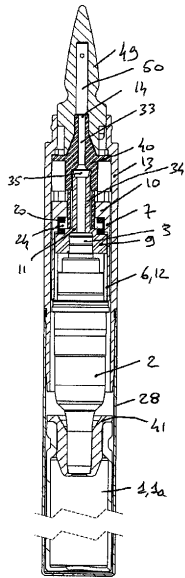


Fig. 9d

【図 10 a】

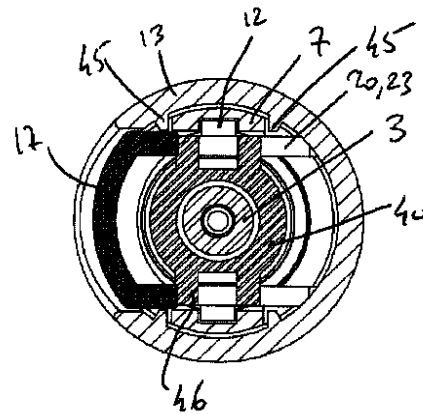


Fig. 10a

【図 10 b】

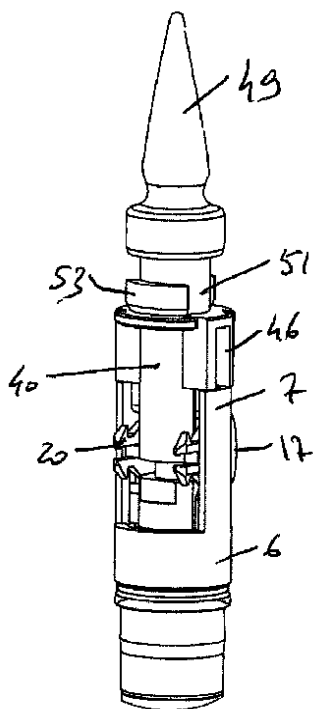


Fig. 10b

【図 10 c】

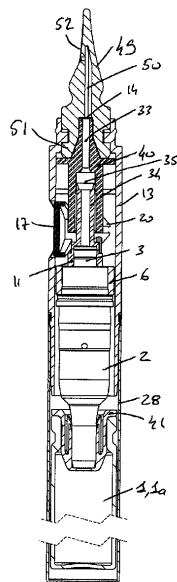


Fig. 10c

【図 10 d】

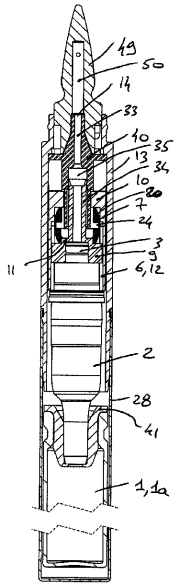


Fig. 10d

フロントページの続き

(72)発明者 イムネ, エルヴェ

フランス, エフ - 8 0 2 1 0 フュキエール オン ヴィミュ, リュ マルセル ソンバ, 3

審査官 伊藤 秀行

(56)参考文献 実開昭 6 3 - 1 1 5 4 7 6 (J P , U)

特開 2 0 0 4 - 0 2 5 7 6 3 (J P , A)

特表 2 0 0 5 - 5 3 4 3 9 1 (J P , A)

国際公開第 2 0 1 0 / 0 7 1 3 0 9 (W O , A 2)

(58)調査した分野(Int.Cl., D B 名)

A 4 5 D 3 3 / 0 0 - 4 0 / 3 0

A 4 6 B 1 / 0 0 - 1 7 / 0 8

A 4 6 D 1 / 0 0 - 9 9 / 0 0

A 6 1 C 1 7 / 2 2 - 1 7 / 4 0

A 6 1 M 1 1 / 0 0 - 1 9 / 0 0

B 0 5 B 1 1 / 0 0 - 1 1 / 0 6

B 6 5 D 8 3 / 0 0

8 3 / 0 8 - 8 3 / 7 6